

イネもみ枯細菌病(苗腐敗症)に対する シードラック水和剤の種子消毒の防除効果

イネもみ枯細菌病



- ・もみの不稔、淡紅色に変色
- ・重症穂を中心に坪状発生



種子伝染



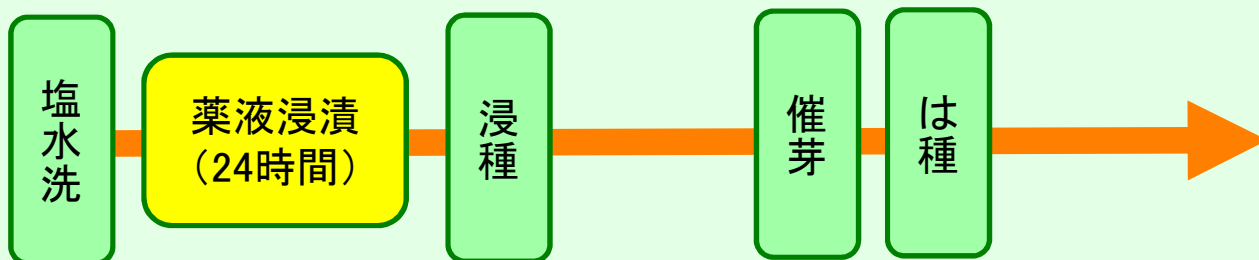
- ・葉の白化、奇形
- ・葉鞘が腐敗し、枯死に至る

シードラック水和剤(金属銀水和剤)

「銀」を有効成分とする、新しい種子消毒剤です。(成分:金属銀20.0%)

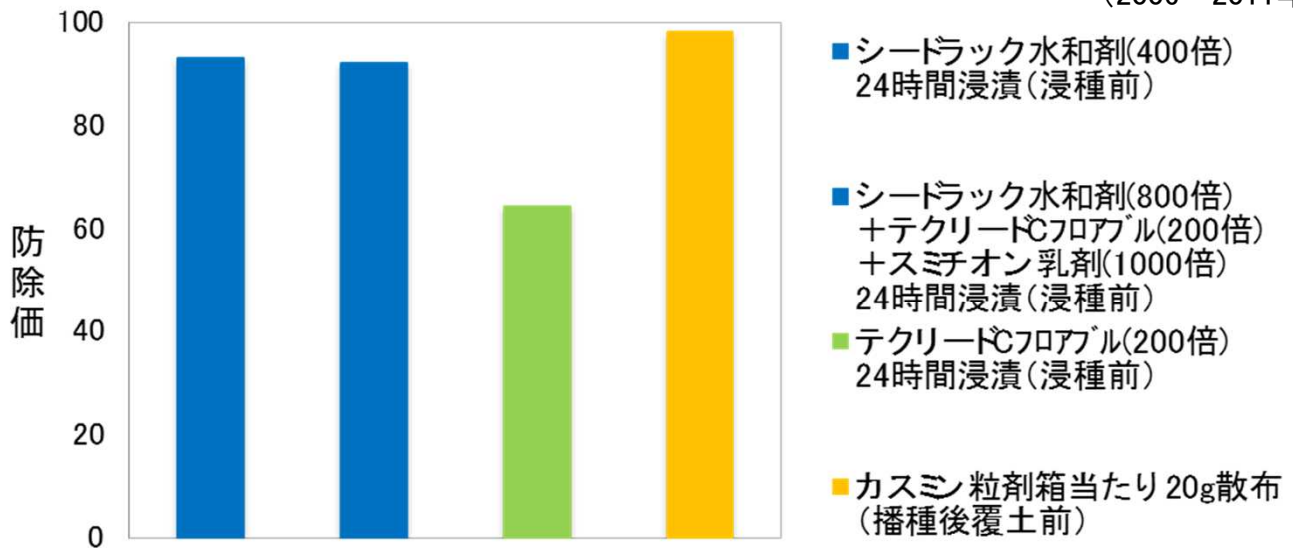
1. 細菌病に対して優れた防除効果を示します。
2. 病原細菌に対する耐性菌発生リスクがほとんどありません。
3. 特に種子生産現場において、おすすめです。

使用方法



薬剤を400倍～800倍に希釈し、24時間種子を薬液に漬けた後に、浸種を行う。

【イネもみ枯細菌病(苗腐敗症)に対するシードラック水和剤の防除効果】 (2006～2011年)



シードラック水和剤は、イネもみ枯細菌病の苗腐敗症状に対して高い防除効果が認められた。また、テクリードCフロアブルやスミチオン乳剤との混用処理を行っても、防除効果の低下や薬害等は認められなかった。

【シードラック水和剤と他薬剤の混用体系処理が苗の生育に及ぼす影響】 (2006年)

処 理		出芽率 (%)	草丈 (cm)	葉齢 (枚)	薬害
種子消毒(混用)	は種後覆土前処理				
シードラック水和剤(400倍) テクリードCフロアブル(200倍) スミチオン乳剤(1000倍)	カスミン液剤 (4倍、50ml/箱)	97.2	17.1	2.3	なし
シードラック水和剤(400倍) テクリードCフロアブル(200倍) スミチオン乳剤(1000倍)	カスミン粒剤 (20g/箱)	97.5	17.3	2.3	なし
テクリードCフロアブル(200倍)	カスミン粒剤 (20g/箱)	97.7	17.4	2.4	なし
無処理		97.0	17.2	2.5	

注) 品種: コシヒカリ, 種子消毒: 薬液15℃24時間浸漬, 浸種: 15℃7日間, 出芽処理: 30℃2日間, 出芽後管理: 室内で管理, 生育調査: 播種16日後.

シードラック水和剤と他薬剤との混用処理による、イネ苗の生育への影響は認められなかった。

《 注意事項 》

- ・本技術は、主に種子生産の場で活用してください。
- ・高い防除効果が得られるのは細菌性病害に限られるため、イネばか苗病防除剤、イネシガラセンチュウ防除剤を混用してください。